

三豊市第2次観光基本計画
2020-2024
中間報告

目標値の達成状況

新型コロナウイルス
感染拡大時期

	基準値	2019年	2020年	2021年	2022年	目標値
観光入込客数	1,695千人	1,931千人	1,275千人	1,272千人	1,583千人	2,000千人
宿泊者数	18千人	22千人	15千人	19千人	40千人	40千人
外国人宿泊者数	1,689人	2,615人	71人	39人	164人	5,000人

▶ 観光客数の動向について

新型コロナウイルスの影響により、香川県の主要観光地（栗林公園、屋島、琴平、小豆島）で見ると観光入込客数は2019年比で2020年は約41%減、2021年は約44%減となった。

こうした中、三豊市の観光入込客数の減少は比較的小幅に収まった。（2020・21年ともに約34%減）

また、2022年は前年度から約25%増、父母ヶ浜海水浴場は約45%増となり、コロナ前の2019年を上回った。

▶ 宿泊者数の動向について

新型コロナウイルスの影響により、宿泊客数は日本全体では2019年比で2020年は約48%減、2021年は約35%減となったが、三豊市では比較的小幅の減少に収まった。

また、2022年は前年度から約200%増となり、2024年までの目標値を達成した。

取組 1 「魅力的な観光地域づくり」

取組	基本施策	基本方針	主な事業内容	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
魅力的な観光地域づくり	魅力的な観光地域づくり	産業化に向けた事業者支援	補助金情報等周知・申請支援	メールやHPによる周知					
				申請相談・支援					
		魅力的な観光地域と商品づくり	魅力ある資源を活かした商品・サービス展開	事業者ヒアリング・事業者交流会			瀬戸芸を活かした商品PR		
					民間 農泊・漁業体験事業	民間 マルシェ実施			

▶ 実施事業の後援・情報発信など

- ・市内事業者が実施する事業の後援
- ・市のツール（HP・SNS・LINE）を活用した情報発信

▶ 事業者への情報発信・投資への相談対応

- ・国・県・財団などを含む補助金・セミナー等の情報発信
- ・事業者からの補助金活用の相談対応
- ・事業者からの観光分野の投資の相談対応



香川県
「魅力あるコンテンツ造成支援事業補助金」
三豊鶴 酒蔵ART & RESTAURANT
(イベント・2022)



香川県
「魅力あるコンテンツ造成支援事業補助金」
SHIPPOH PROJECT
(農泊体験・2021)



観光庁
「第二のふるさとづくりプロジェクト」
地域に役割(働く・学ぶ)を瀬戸内Life Experience
(関係人口創出事業・2022)

取組 2 「効果的なデジタルマーケティングと情報発信の強化」

取組	基本施策	基本方針	主な事業内容	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)
効果的なデジタルマーケティングと情報発信の強化	三豊を知ってもらうための情報発信、プロモーション	魅力的な情報発信	観光ポータルサイトの構築	HPのスリム化	観光交流局賛助会員制度拡張	課題整理、企画・構成の検討		
			ホームページの多言語化		サイトリニューアル			
			FM香川ラジオブログの活用	内容を改善しつつ継続実施	ブログリニューアル			
			PVの作成 Web広告の活用	PVの作成	補助金等を活用し実施			
		多様なツールの活用	パンフレットによる情報発信		ガイドブックの作成	英語・繁体字の整備		ガイドブックの見直し
			父母ヶ浜の情報発信拠点化		父母ヶ浜周辺マップの作成	指定管理者インスタなど		
			SNSによる伝達とファンづくり	FB・インスタ継続実施	LINEによる発信スタート	内容を改善しつつ継続実施		
	三豊とのつながりを維持するためのデジタルマーケティング	効果的かつ効率的な情報の伝達	ターゲットや嗜好性の分析	観光交流局・FMサイトの分析		アンケート実施 父母ヶ浜・紫雲上山など		
			リピーター・関係人口の獲得	定期配信によるコミュニティ形成				

▶ 情報発信の強化

三豊市観光交流局

- ・2021年にHPリニューアル
- ・英語、繁体字のページの整備
- ・SNSの継続活用

FM香川

- ・2022年にブログリニューアル
- ・市公式LINEの連動を強化

▶ パンフレットの整備

- ・「MITOYO GUIDE」制作
- ・英語・繁体字版の制作

▶ 観光動向の把握

- ・宿泊・現地アンケートの実施

取組3 「観光客受入環境の整備」

取組	基本施策	基本方針	主な事業内容	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	
観光客受入環境整備	受入基盤の整備	二次交通の充実	既存公共交通の利用環境の改善	地域公共交通計画の策定 アンケート実施	ニーズ把握、情報発信等の利用促進)	交通結節点の機能向上		ガイドブックの見直し	
			オンデマンド型交通の導入	実証(四国運輸局) 観光MaaSの検討	民間クルージング シャトルバス・タクシー	民間オンデマンド型交通 電動キックボード		実証	
			経路検索の充実	GTFS化	内容を改善しつつ継続実施 バスロケーション等の導入検討	バスロケーションシステム導入			
		観光地周辺のインフラ整備	父母ヶ浜周辺施設の整備	駐車場の拡張・整備 継続的な改善	トイレ整備・駐車場有料化				
			その他の施設の整備	トイレ洋式化補助制度	RVパーク整備 父母ヶ浜土産店(百歳書店)	RVパーク整備			
		外国人観光客の受入環境の充実	多言語による情報発信の強化	看板の必要ヶ所の洗い出し 翻訳ツール導入	看板等の整備 継続的な改善				
		観光人材の確保・育成と創業支援	専門人材・観光従事者の確保と育成	観光専門職短大との連携体制の構築 人材不足の解消		連携内容の継続協議 課題、ニーズの把握 ガイドの育成	交流局インターンシップの受入 瀬戸芸学生ボランティア 事業者ヒアリング オンデマンド交通スタート	人材活用策の検討	
			観光分野の創業者及び既存事業者への支援	支援機関との連携強化・紹介	継続実施				
			観光振興基盤の強化	公的資産の有効活用	公的資産のフレキシブルな活用			ニーズの把握	関係課協議、情報提供
		観光動向・ニーズの継続的な把握		各種データの取得・整理・分析・共有化	入込客数・宿泊者数調査の実施	データニーズの把握・共有			
	観光交流局の機能強化	観光事業者との連携強化 自主事業運営による経営自立化			賛助会員制度の拡張 組織運営の検討・法人化	会員制度による財源確保 一般社団法人発足			
	市民参画意識とシビックプライドの醸成	情報共有と観光振興への参画	学官連携	高瀬高校ミライ塾	米環境啓発映画吹替版制作協力 善通寺一校栗島作品制作	瀬戸芸学生ボランティア 瀬戸芸子どもガイド			
			TARA等関係機関との連携	TARA連携事業の実施	自走化に向けた検討 市民や学生への環境学習	自走化に向けた事業 地域おこし協力隊の活用			

▶ 交通改善

- ・2020年～2021年度にかけてバスロケーションシステム導入などコミュニティバスの情報強化
- ・2022年10月より民間によるエリア定額乗り放題サービス (mobi) がスタート

▶ 父母ヶ浜の整備

- ・2021年にトイレを新設

▶ 観光交流局の機能強化

- ・2022年4月に一般社団法人化

▶ 他団体との連携

- ・タラオセアンジャパンとの連携
- ・瀬戸内観光短大と連携
- ・県内学校との連携

▶ 他市町との連携

- ・観音寺市・琴平町・三好市との連携について調整中